



# 酒田市出身アーティストによる座談会とコンサート

## 第2回 アートの力

# 宝は足下にある

酒田の明るい未来を話そう



歌手  
白崎 映美



写真家  
佐藤 時啓



津軽三味線奏者  
岡田 修

# 2018年10月27日(土)

開演 13:30 (開場 13:00)

会場：酒田市総合文化センター ホール

山形県酒田市中央西町2-59 TEL.0234-24-2991

入場料：【全席自由】 一般1,000円 大学生以下無料 (要無料招待券)

※大学生以下の無料招待券は、希望ホールと酒田市総合文化センターで先着50名に配布します。

チケット発売：9月7日(金) 10:00~

プレイガイド：希望ホール、酒田市総合文化センター、マリーン5清水屋、みずほ八文字屋

託児をご希望の方は、9月27日(木)まで希望ホールへお申込み下さい。(TEL.0234-26-5450)

主催：希望ホール自主事業企画運営委員会・酒田市

お問い合わせ：酒田市民会館「希望ホール」 TEL.0234-26-5450 fax.0234-26-5452 <http://www.kibou-hall.sakata.yamagata.jp/>



酒田市教育長  
村上 幸太郎

酒田市出身アーティストによる座談会とコンサート

第2回 アートの力

# 宝は足下にある

酒田の明るい未来を話そう



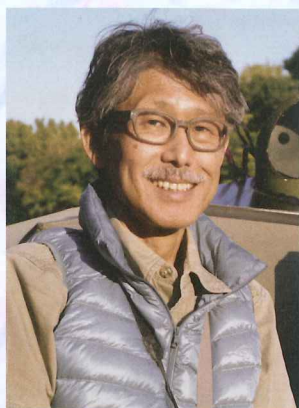
歌手

## 白崎 映美

(しらさき えみ)

山形県酒田市出身。1990年、上々颱風でエピックソニーよりデビュー。JAL沖縄キャンペーンCM、スタジオジブリ「平成狸合戦ぽんぽこ」映画音楽、シンディ・ローパーのアルバム及びライブ参加、海外ツアー等、多岐に渡る活動で支持を集める。2013年の上々颱風休止後、東日本大震災を経て、「東北さいい事来ーい！」と、「白崎映美&東北6県ろ〜るショー!!」を結成。精力的に活動中。

2016年フォトエッセイ『鬼うたひ』(亜紀書房刊)発表。舞台にも出演し、主演舞台『まつろわぬ民』は好評につき、2017年に続き、今年も再演が決まる等、音楽にとどまらず、TV、映画出演、執筆など活動の場を広げている。酒田観光大使。モッシュェ山形代表理事。2017年酒田市よりふるさと榮譽賞受賞。



写真家

## 佐藤 時啓

(さとう ときひろ)

1957年酒田市生まれ。1983年東京芸術大学大学院美術研究科修了。長時間露光により風景や物事の中に光を彫り込んでいくような写真作品の制作や、カメラの構造による公共的な場や空間、装置を各地に展開している。また近年はデジタルファインプリンティングの研究を行う。「第6回ハバナ・ビエンナーレ」(1997)「第9回バンガラデシュビエンナーレ」(1999)ほか多くの国際展に参加。Leslie Tonkonow 画廊(ニューヨーク) HAINS 画廊(サンフランシスコ)、酒田市美術館(1999)シカゴ美術館(2005) Frist Center for the Visual Arts USA (2010)、東京都写真美術館(2014)、鶴岡アートフォーラム(2015)、PIET HEIN EEK Netherlands(2016)などで個展を開催。



津軽三味線奏者

## 岡田 修

(おかだ おさむ)

山形県酒田市出身。18歳の時に東京の就職先で津軽三味線に出会い、稽古を始める。その後、津軽の山田千里師匠の音に出会い、車のエンジニアへの道を断ち山田師匠に師事する為に津軽へ旅立つ。23歳。5年間津軽で修行し、最後の年に津軽三味線全国大会のチャンピオンになる。その後は東京を基盤にしつつ、海外や日本各地で演奏活動を展開する。津軽の匂いを大事にしつつ、オリジナル曲の創作も手掛ける。その中には歌も含まれ、「世代〜メッセージ」は国際交流基金の日本語学習サイトで教材として使われている。



光一呼吸シリーズより  
#384 Kokuritsu-Soko 2 1999